

化学工業日報社 世界化学年 記念シンポジウム・講演会

持続的成長を支える 化学技術の革新

会期 2011年 **10**月 **27**日(木) - **28**日(金)

会場 学術総合センター

後援:世界化学年日本委員会、文部科学省、経済産業省、科学技術振興機構、 日本化学会、日本化学工業協会、日本化学連合



Osamu Odajima

株式会社化学工業日報社 代表取締役社長 織田島 修

本日は、化学工業日報社主催「世界化学年」記念講演会にご来場いただき誠にありがとうございます。すでにご案内の通り、世界化学年は、キュリー夫人のノーベル化学賞受賞 100 周年を記念して国連で決議されたものです。各国で化学の正しい理解と今後の発展に向けたさまざまなイベントが実施され、世界化学年を盛り上げています。当社でも昨年秋には、社内に記念事業実行委員会を設け、化学および化学技術の振興に寄与するための企画を検討してきました。しかし、今年 3 月 11 日に発生した東日本大震災によって、わが国の状況は大きく変わり、計画そのものを改めて考えざる得ない状況に至りました。

化学産業にあっても、震災の被害はいまでも大きな疵を残しています。 震災を機に改めて危機管理体制の構築、リスクの地域分散などさまざま な対応を迫られた企業も多いと思います。製造拠点が被害を受けたこと で、サプライチェーンが寸断され、多くの化学品の供給が途絶えました。 これによって、国内はもとより、世界中の幅広い産業に多大の影響を及 ぼしたことは記憶に新しいところです。

しかし、こうした事態は、見方を変えれば、取りも直さずわが国化学 産業の培った固有技術が世界の隅々に至る産業に貢献し、影響力の大き さを証明したと言えるのではないでしょうか。現在、化学産業をはじめ とする製造業は、超円高をはじめ、国際競争をそがれる「6重苦」を抱 えながらも、国際市場で競争し、勝ち残っていかねばなりません。

化学産業は、独自の技術と開発力でこの苦難を乗り越える力を持っており、市場からのニーズは高まる一方と言えます。わが国製造業のリーダー役として化学産業は注目され、まさに「化学の時代」がきたと言えるでしょう。

さらに付け加えれば、震災後、いっそう議論が活発になった新エネルギー開発、喫緊の問題で言えば、被災地における汚染土壌の改質など多くの分野で、化学および化学技術の必要性が益々重みを増しているということも強調しておかねばなりません。

きょう明日の二日間、この学術総合センターで開催致します講演会、シンポジウムでは、世界化学年の基本テーマである、社会における化学の理解増進、若い世代への支援――など幅広い分野について、多彩な方々にメッセージを発信していただくことになっております。また、これからの化学産業、そして女性化学者の未来などについて、活発な議論をしていただくことになっております。

わが国の化学産業は、立ち止まらず、常に新しい応用分野を開発しつづけねばなりません。そのためには、現在、化学企業で働かれている方や化学の分野で研究を続けている方々が自信を持って活動、活躍していける環境を整備することはもちろん、未来を担う若い人たちが夢をもって化学の分野に飛び込んでこれるような素地をつくり上げていくことが大切です。

二日間にわたるこの対話の場が、こうした活動に少しでもお役に立てれば、これ以上の喜びはありません。

プログラム

2011年10月27日(木)

· 午前 ·

10:30 開演

【開会挨拶】 織田島修 化学工業日報社社長

10:40 【基調講演】 藤吉 建二 日本化学工業協会会長

11:15 【基調講演】 高橋 恭平 石油化学工業協会会長

・午後・

13:00 【招待講演】 渡辺 捷昭 トヨタ自動車相談役

13:50 【特別講演】 橘川 武郎 一橋大学大学院教授

15:00 【パネルディスカッション】

『化学企業のトップが語る ― 化学産業の今・未来』

座長:橋本和仁 東京大学大学院教授

パネリスト:市川秀夫 昭和電工社長

小林 喜光 三菱ケミカルホールディングス社長

田中 稔一 三井化学社長

十倉 雅和 住友化学社長

藤原 健嗣 旭化成社長

2011年10月28日(金)

· 午前 ·

10:30 開演

【特別講演】 相澤 益男

総合科学技術会議常勤議員、前東京工業大学学長、

日本化学会フェロー・元副会長

11:10 【特別講演】 巽 和行

国際純正・応用化学連合(IUPAC)副会長

•午後 •

13:00 【招待講演】 白川 英樹 筑波大学名誉教授

14:00 「化学コミュニケーション賞」表彰式 主催 日本化学連合

共催化学工業日報社

15:00 【パネルディスカッション】

『女性化学者の道を拓く ― 若い世代へのメッセージ』

座長:蟻川 芳子 日本女子大学学長・理事長

パネリスト: 小野 昇子 三井化学 機能化学品開発部 主席研究員

坂田 信以 住友化学 生物環境科学研究所 所長

櫻井 愛子 三菱化学科学技術研究センター 主席研究員

松下 祥子 東京工業大学 准教授

2011年10月27日末

● 講演者紹介

10:40 ~ 基調講演

一般社団法人日本化学工業協会 会長

藤吉建二氏

1944年生まれ。京都大学大学院工学研究科修士課程修了。1969年三井石油化学 工業株式会社(現三井化学株式会社)入社。2009年代表取締役会長就任。2010年 取締役会長就任。2010年一般社団法人日本化学工業協会会長就任。



11:15 ~ 基調講演

石油化学工業協会 会長 高橋 恭平氏

1944年生まれ。東京大学経済学部卒業。1968年昭和電工株式会社入社。2011年 代表取締役会長就任。2010年石油化学工業協会会長就任。



13:00 ~ 招待講演

トヨタ自動車株式会社 相談役

渡辺捷昭氏

1942年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。1964年トヨタ自動車工業株式会社(現トヨ タ自動車株式会社)入社。2005年代表取締役社長就任。2009年代表取締役副会長を経て、 2011年相談役に就任。2009年社団法人日本経済団体連合会副会長就任。藍綬褒章受賞。



13:50 ~ 特別講演

一橋大学大学院商学研究科 教授

橘川武郎氏

1951 年生まれ。1975 年東京大学経済学部経済学科卒業。1977 年同経営学科卒業。 1983年同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。経済学博士。東京大学社会 科学研究所教授を経て、2007年より現職。



15:00 ~

パネルディスカッション『化学企業のトップが語る-化学産業の今・未来』



東京大学大学院工学系研究科 応用化学専攻 教授

橋本 和仁氏

1955 年生まれ。1980 年東京大 学大学院理学系研究科修士修 了。理学博士。東京大学先端 研教授を経て、2004年より同 大学院工学系研究科教授。日 本学術会議会員。内閣総理大 臣賞、恩賜発明賞などを受賞。



昭和電工株式会社 代表取締役社長

市川秀夫氏

1952年生まれ。慶応義塾 大学法学部政治学科卒業。 1975 年昭和電工株式会社 入社。2011年代表取締役 社長就任。



株式会社三菱ケミカル ホールディングス 代表取締役社長

小林 喜光氏

1946年生まれ。東京大学理学系 大学院相関理化学修士課程修了。 1974年三菱化成工業株式会社(現 三菱化学株式会社)入社。2007 年代表取締役社長就任、並びに 株式会社三菱ケミカル HD 代表取 締役社長就任。



三井化学株式会社 代表取締役社長

田中 稔-一氏

1945 年生まれ。九州大学経済 学部卒業。1968年東洋高圧工 業株式会社 (現 三井化学株式 会社)入社。2009年代表取締 役社長就任。



住友化学株式会社 代表取締役社長

十倉 雅和氏

1950年生まれ。東京大学経 済学部卒業。1974年住友 化学工業株式会社 (現住友 化学株式会社)入社。2011 年代表取締役社長就任。



旭化成株式会社 代表取締役社長

藤原健嗣氏

1947年生まれ。京都大学工学部 卒業。1969年旭化成工業株式 会社(現旭化成株式会社)入社。 2010年代表取締役社長就任。

10:30 ~ 特別講演

総合科学技術会議常勤議員、前東京工業大学学長、 日本化学会フェロー・元副会長

相澤益男氏

1942 年生まれ。1971 年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。工学博士。1986 年同大学工学部教授。2001 年同大学学長。2007 年より現職。



11:10 ~ 特別講演

国際純正・応用化学連合 (IUPAC) 副会長

巽和行氏

1949 年生まれ。1976 年大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程修了。工学博士。 1994 年より名古屋大学教授。2008 年より日本学術会議会員。2010 年国際純正・応用 化学連合(IUPAC)副会長就任。



13:00 ~ 招待講演

筑波大学名誉教授

白川英樹氏

1936 年生まれ。1966 年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。同大学資源 化学研究所助手を経て、1982 年筑波大学物質工学系教授。2000 年ノーベル化学賞 受賞。2001 年より日本学士院会員。



15:00 ~

パネルディスカッション『女性化学者の道を拓く - 若い世代へのメッセージ』

座長



日本女子大学学長・理事長 **蟻川 芳子**氏

1940 年生まれ。日本女子大学家政学 部家政理学科一部卒業後、1968 年東 京工業大学大学院理工学研究科博士 課程修了。理学博士。2009 年より日 本女子大学学長・理事長、名誉教授。 専門は分析化学・環境化学。 パネリスト

三井化学株式会社機能化学品開発部主席研究員

住友化学株式会社 生物環境科学研究所 所長

坂田 信以氏

株式会社三菱化学科学技術研究センター 主席研究員

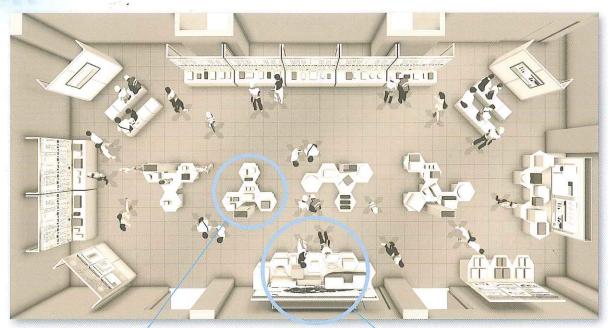
櫻井 愛子氏

東京工業大学 理工学研究科材料工学専攻 准教授 松下 祥子 氏

化学產

化学産業界展示コーナー

化学産業の歴史や技術動向などを年表・製品展示にて紹介します。







化学企業展示コーナー

産業の持続的な成長を支える革新的化学技術をテーマに各企業が出展・将来に 向けた展望を紹介します。



化学遺産認定化学史映像展



「化学遺産」として認定された施設や業績を分かりやすく紹介するほか、 キュリー夫人の軌跡をテーマとした展示を企画しております。





認定化学遺産第 009 号 日本のセルロイド工業の発祥を示す資料



認定化学遺産第 010 号 日本の板ガラス工業の発祥を示す資料

ボーランド展



ワルシャワは、ヨーロッパのまさに心臓部に位置し、南北・東西を結ぶ要衝です。政治・経済・文化の中心地としてのにぎやかな一面と、過去の面影を残す旧市街などの情緒のある静かなただずまいとがうまく調和を保っています。写真は、ワルシャワ旧市街の旧王宮前広場です。

マリー・キュリー展



実験室のマリー・キュリー (1867 - 1934)

10/28 (金) 14:00 ~

化学コミュニケーション賞 表彰式

世界化学年を記念して、化学コミュニケーション賞を創設し、「化学」に対する社会の理解を深めることに後見した個人及び団体を顕彰し、その栄誉を称え表彰式を行います。



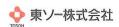


◆ 住友化学

Asahi KASEI

SEKISUI

Shin Etsu





SHOWA



kaneka



○ 日産化学工業株式会社



JSR株式会社



ZEON















◇三并物産

◆ 住友商事

















東京化学開発株式会社 圖03-3275-0639 圖03-3271-8547

8485 東京都中央区日本橋浜町3-16-8 203-3663-7931(代)

企画等業 J C W e b 大阪女社 名古歴支局 ツンガポール支局 上海支局 0 立3663 - 7934 立3663 - 7932 立3663 - 7933 立3663 - 7935 立3663 - 7932



記念講演会 世界化学年

化学工業日報社 化学と化学技術の未来を探る



PC25は高透明性、高剛性といた従来の特性を維持しながら追など作業性を改善(右がPC5配合したフィルクを指記のたが無配合に配合したフィルム。左が無配合

P センタ -ツ橋の学術総合 7,28 日 N 10月

エアを持つ。リカクリア

として3年ほど前から顧

客への提案を開始した。

現在主流のアセタール系

透明結晶核剤「ゲルオー

ル」は、熱に弱いアセタ

ール結合を有するため、

徴量のアルデヒド発生に

よる臭気の問題があっ

た。これに対し、非アセ

早 でした、 独自開発品

5 ーン橋2 (東京都千代田区-外布総合セン

10: 【会場】 学術総合セ 【プログラム】 10月27日 (木) <午前の部>開演1

10 : 30-10 : 10 : 40-11 : 15-11 : 15-11 : 13 : 50-14 : 13 : 50-14 : 15 : 00-17 :

織田島修 藤吉建二 高橋恭平 開会挨拶 基調購潢 基調購潢 . 40 . 15 . 50

化学工業日報社社長 日本化学工業協会会長 石油化学工業協会会長

一一

ープの室町ケミカル(福

岡県大牟田市)は、ディ

トゼル車排ガス脱硝用の

高品位尿素水「アドブル

- 一事業に参入した。本

社工場内にのきばタンク

を設置するとともに専任

販売チームを組織し、九

州地区で市場開拓に乗り

ムロマチテクノスグル一出した。ドイツ自動車工

業会(VDA)からライ

、センスを取得したことを

機に、茨城県下妻市に事

業拠点の設置も決めた。

「東西2拠点の供給体制

の構築を急ぎ、3年後に

は年商3億円ビジネスを

目指す」(村山哲朗社長)

室町ケミカルは、化学

昭和電工社長 三菱ケミカルHD社長 三井化学社長 住友化学社長 旭化成社長

トヨタ自動車相談役 一橋大学大学院教授

....20

化学産業の今・未来 東京大学大学院教授

招待講演 渡辺ない 中橋大年別講演 権川武郎 一橋 パネルディスカッション 『化学企業トップが語る一座 長 橋本和仁 。・・11スト (50 音順) 市三%大 小林禧光 田中稔一 十倉羅和 藤原健嗣

· 開演10:30 :10 特別講演 (等) 328日(金) (午前の部> 10:30-11: 10月2

相澤益男 総合科学技術会議常勤議員・ 東京工業大学学長・日本化学会フェロー 副会長 異和行 国際純正・応用化学連合(IU] AC)副会長 特別講演 11:10-11:50 午後の部>

・医薬・健食の製造、イ

オン交換樹脂・分離膜の

精製・再生処理やシステ

ム開発販売など、グルー

プでメーカー機能を担

当。成長戦略として新規

事業の創出と育成に取り

組んでおり、その1つが

ディーゼル車に搭載す

UP

アエレラー。

: 00-13: 50 : 00-14: 50 13

: 30 15:00-16

お待講演 白川英樹 筑波大学名誉教授
「化学コミュニケーション賞」表彰式 司会:(御園生誠 日本化学連合会長)
パネルディスカッション『女性化学者の道を拓く一若い世代へのメッセージ』
歴 長 駿川芳子 日本女子大学学長・理事長パッリ野昇子 三井化学機能化学品開発部主席研究員 東田信以 住友化学生物環境科学研究所長 櫻井愛子 三菱化学科学技術研究センター主席研 電子 三菱化学科学技術研究センター主席研 電子 三菱化学科学技術研究センター主席研 電子

る尿素SOR(選択還元

型触媒)システムに用い

るもので、排ガス中に贖

財し窒素酸化物 (Z

Ox)を還元処理する。ア

ドブルーは尿素濃度的・

5%の水溶液で、VDA

がライセンス管理してお

り、2009年のポスト

新長財規制にともない国

松下祥子 東京工業大学准教授 ペネリストおよび時間は変更する場合がありま **しに** 宇部興産株式会社 SHOWA

to

Asahi KASEI THE PARTY OF THE P 三菱化学

ワークが生かせると判

任チームろ人を投入し、

レーヤアイング・河業市

動を開始。本社工場内に

はのき以タンクを主体と

する希釈・小分け製造設

制を構築した。本社工場

が九州の中間地点にある

Kaneka

台背的"以体

DENKA

本社の営業組織内に専

断、事業化する。

住友化学

○ 日産化学工業株式会社

B SEKISUI TOKUYAMA

ShirEtsu

新日野化学

DAICEL 株式会社写どわり

◆ 取り 乗り ・株式会社

■IC 株式会社 JNC 株式が対

日本触媒

ースにアドブルー拠点の 設置を決めた。近く詳細 計画を詰め、タンク設備 の建設など拠点整備に取 り組む。「原料の尿素は複 数ソースを確保してお り、東西2拠点による安 定供給体制を武器に事業 育或を急ぐ」としている。

プリント配線板穴あけ加

工事業を再編、遊休スペ

花が開き、そり境遇に陥っても 強い意味も込ま

す)の花と咲く

米事

けを求めている

ないななってなるでは、 を見る人のでなる。 を関る人の心をする。 を関うようのできない。 を関うようのできない。 を受ける。 をのの。 をできる。 をでする。 をでする。 をできる。 をでする。 をで。 をでする。 をでる。 をでする。 をでる。 をでる。